

若者が捉えた五福通り

インスタでフォトコン 学生ら開催

岡山市東区の西大寺地域にあり、レトロな町並みが残る五福通りを盛り上げようと、甲南大学（神戸市）の学生と地元の高校生らが通りを舞台にしたフォトコンテスト（フォトコン）を開催した。古い壁やベンチなどを利用し、若者の目線で通りを捉えた55作品が集まり、入賞作が決まった。

甲南大の学生4人と地元の岡山学芸

館高校（岡山市東区）の生徒4人が企

画した。8人は、若者が地域の課題解

決を考えるイベント「関西湾岸SDG

Sチャレンジ」（甲南大学、朝日新聞

社メディアビジネス局主催）の参加

者。SDGsの目標「住み続けられる

まちづくり」に向けて、今年7月か

ら議論してきた。

近くに吉井川が流れる五福通りは、

かつて港町として栄えた。江戸後期以

降、町家による町並みが形成され、現

在も建物が残る。映画「ALWAYS

三丁目の夕日」などのロケ地として

知られるが、住民の高齢化に伴い、歴

史的な町並みの保存は地域の大きな課



通りにある古着屋の服を着用して撮影する「るるぶ部門」の優秀賞に選ばれた風早美結さんの作品

レトロな町並み「同世代に知ってほしい」

題になっている。

メンバーが今回行った地元の高校生168人へのアンケートでは、7割の人が五福通りを知らなかった。通りを歩いてみたメンバーは、レトロな雰囲気を感じつつも「場所が分かりにくい」「通り全体が暗い」などと感じた。地元の若者に足を運んでもらい、コロナ禍でも多くの人に通りを知ってもらえる企画として、インスタグラムでのフォトコンを考えた。

フォトコンでは、通りで、制服を着用して撮影してもらう「半世紀前の放課後部門」や、通りにある古着屋「るるぶ」の服を着用して撮る「るるぶ部門」など全3部門を設定。集まった作品を地元の人やメンバーが審査し、各部門で入賞作を決めた。入賞した就実大学2年の風早美結さんは「写真を撮っている時、お店の方からたくさん優しい言葉を頂いた。温かい人柄に囲まれて、優しい気持ちになれる素敵な場所だ」とコメントした。

フォトコンのリーダーを務めた甲南大マネジメント創造学部2年の山里夏未さん(20)は、「五福通りの認知度が上がったのがよかった。この地域でなにかしたいと思う人が一人でも増えてほしい」と話した。

高校生らは引き続き五福通りでのイベントを計画する予定。全入賞作品は、同校地域活性化ゼミのインスタグラムアカウント(@chiiki_zml18)で見ることができる。(寺田実穂子)